

2019年度 自衛消防隊研修会の開催

〔開催日〕 令和元年9月11日（水） 9：10～16：10

〔場 所〕 茨城県立消防学校 体育館・校庭

〔講 師〕 4消防本部 8名

（那珂市消防本部、大洗町消防本部、鹿行広域事務組合消防本部、
ひたちなか・東海広域事務組合消防本部）

〔指導員〕 4事業所 6名

（日本原子力研究開発機構原子力科学研究所、日本原子力研究開発
機構核燃料サイクル工学研究所、日本原子力研究開発機構大洗研究
所、日本原子力発電）

〔参加者〕 12事業所23名

〔訓練概要〕

（1）座学

① 自衛消防に関する事項について

（2）実動訓練

① 空気呼吸器等の装着訓練

② 屋内消火栓の取扱要領（ホース延長・収納等の操作）

③ 消防自動車からの放水・吸水訓練

（3）総合訓練

指揮隊（含支援隊）、消火隊、救助隊に分かれて、実放水を含む火災
防御・救出訓練を実施（想定：平屋事務所より出火、延焼中。職員2名
逃げ遅れ。）

原子力事業所安全協力協定加盟事業所の「2019年度自衛消防隊研修会」
は、12事業所から23名が参加して開催された。

今年度で11回目となる本研修会は、昨年度に引き続き、参加対象者を自衛消
防隊の初心者を中心に募集し、体育館での座学（自衛消防に関する事項につい
て）を行い、その後実習として、体育館及び校庭において実動訓練（① 空気呼
吸器等の装着訓練、② 屋内消火栓の取扱要領、③ 消防車からの放水・吸水訓
練）を行った。

総合訓練では、講師の運転する消防関係車両6台に分乗し、校庭を一周し火災
現場に到着、指揮隊大隊長の指示の下、ハンドマイクを使用して状況確認を行
いながら、消火隊による放水、救助隊による煙（無公害発煙筒使用）の充満し
た建物内からの負傷者（ダミー）の救助など、実際の火災現場に近い形での訓
練を行うことができた。

当日は、予想されていた雨も降ることなく、予定した訓練内容を全て終了す
ることができた。

なお、今回の研修会では、茨城県原子力安全対策課主査ならびに東海・大洗
原子力規制事務所原子力防災専門官にご視察頂き、原子力防災専門官からは、

ロープ結束訓練を取り入れたり実際に発煙筒を使用した救助訓練を行い難度が増したがスムーズに実施された旨の講評をいただいた。

また、NHK水戸放送局、読売新聞社、茨城新聞社の取材があり、NHKは、お昼のNEWS WEB 及び夜の県内ニュースで紹介された。



開校式



座学



(空気呼吸器装着訓練)



(屋内消火栓取扱訓練)



(消防車からの放水訓練)

実動訓練



総合訓練